

自己ベスト～集大成～

価値ある行動を積み重ねる(集める)ことで、みなさんの大きな成長(成功)につながる

令和8年 6月26日
小坂井中学校 3年
学年通信 第4号

雨乞いの儀式は必ず成功する

「雨乞いの儀式」を知っていますか？干ばつなどによって、雨が降らずに農作物などに被害が出ないように雨が降ることを願って行う儀式です。この儀式は必ず成功します。なぜなら「雨が降るまで、儀式を続ける」からです。



これを今のみなさんに当てはめると、「雨が降る」＝「目標としていること」であり、「雨乞いの儀式」＝「目標達成に向けて行っている努力」となります。

「目標達成」するためには、それに向けた「努力する行動」が必要です。「努力する行動」を継続する時間の長さや、「目標達成」につながる「的確な努力」をすることで「目標達成」に近づいていきます。

努力は報われる

このことばの意味は、「努力したら報われる」という解釈もありますが、「報われるまですることを努力という」という解釈もあります。日々の生活の中で「報われるまでの努力」を積み重ねてください。

- 「報われる」までの4つの段階
- ① 思う
 - ② 言う
 - ③ 行動する
 - ④ 継続する (改善して継続)

「努力」の定義をアップデートしよう	
【普通考え方】	【雨乞いの考え方】
努力したら報われる	報われるまですることを努力という
「才能がない」と諦めてしまう	「まだ雨が降っていないだけ」と続ける
すぐに出る「結果」	続けるための「工夫と改善」

「報われる」ためにはいくつかの段階があるといわれています。

「～したいと思い」、「～を始めて」、「報われるまで続ける」

この中で、「継続する」ことが一番のポイントになります。

したい人 10,000人 その中で、始める人 100人 さらに、続ける人 1人



思っ、始めても続けられる人は1万人に1人くらいだそうです。「報われるまでの努力」になるようにまずは、自分のやる気やモチベーションを上げる工夫や、生活の中で、努力(学習)をする時間や、これをやったら始める「自分ルール」をつくってみましょう。

「はじめた」だけで、1万人のうちの100人です。その他の9,900人(99%)よりも先を進んでいます。